

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 家庭 科目 ファッション造形基礎

教科： 家庭 科目： ファッション造形基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1組～ 6組 選択者

教科担当者：

使用教科書：（実教出版株式会社「ファッション造形基礎」）

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】被服構成、被服材料の種類や特徴、被服製作について理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】被服製作に関する課題を発見し、ファッションの造形を学ぶ者として創造的に解決する力を養う

【学びに向かう力、人間性等】衣生活の充実を目指して自ら学び、ファッションの造形に主体的に取り組む態度を養う

科目 ファッション造形基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
被服の構成、被服材料の種類や特徴、被服製作について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	被服製作に関する課題を発見し、ファッションの造形を学ぶ者として創造的に解決する力を養う。	衣生活の充実を目指して自ら学び、ファッションの造形に主体的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1章 衣服の構成 1節 人体と衣服	・衣服に求められる着心地のよさを理解する。 ・衣服の2つの形状（平面構成衣服・立体構成衣服）や、既製衣料サイズ表示を学ぶ。 ・体形の特徴や動作によって適した衣服があることを学ぶ。 ・年齢や着脱によって生じる様々な変化や影響を理解し、適応する衣服をつくらることができるようにする。	【知識・技能】衣服には平面構成衣服と立体構成衣服があることを理解し、既製衣料のサイズ表示も理解できている。体形の特徴や動作によって適切な衣服を考えることができる。 【思考・判断・表現】主体的に自分や家族などを例として、年齢や体型、様々なケースに適合する衣服に対して関心を持っている。 【主体的に学習に取り組む態度】自分の身のまわりの服の特徴をみて、立体構成衣服か平面構成衣服かを分けることができる。	○	○	○	4
第1章 衣服の構成 2節 立体構成衣服と 平面構成衣服	・保温性、通気性、吸湿性・吸水性、透湿性・防水性など、さまざまな衣服材料の性能を理解する。 ・デザインや着用品など、用途に合わせた衣服材料を適切に選択し、取り扱いできる力をつける。	【知識・技能】立体構成衣服の製作過程に必要なパターンや、ダーツのデザイン展開、平面構成衣服の特徴を理解する。 【思考・判断・表現】自分の身のまわりの服の特徴をみて、立体構成衣服か平面構成衣服かを分けることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】人体に合わせて立体的に作られた立体構成衣服と、人が着用することではじめて立体的になる平面構成衣服の特徴の対比に関心を持ち、衣服の構成に関心をよせている。	○	○	○	4
1学期 第2章 衣服の素材 1節 衣服素材の種類	・繊維や繊維から成る糸や布の種類と特徴について理解する。 ・環境に配慮した新しい衣服素材や取り組みに関心をもつ。	【知識・技能】繊維・糸・布と、素材の違いによるそれぞれの特徴、それらの加工を理解している。 【思考・判断・表現】素材の中にも、さらに様々な種類があることを学んだ上で、それらを用いた日常に使用されている衣類を挙げるができる。 【主体的に学習に取り組む態度】これまでに用いられてきた衣服素材を理解するとともに、新しい衣服素材についても、環境や安全性に関連させ、リサイクルなどに意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
第2章 衣服の素材 2節 衣服素材の性能と選択	・保温性、通気性、吸湿性・吸水性、透湿性・防水性など、さまざまな衣服材料の性能を理解する。 ・デザインや着用品など、用途に合わせた衣服材料を適切に選択し、取り扱いできる力をつける。	【知識・技能】それぞれの衣服材料の性能はどのようなものであるか理解し、衣服と関連づけてまとめることができる。 【思考・判断・表現】作成したい衣服に合わせた素材選びを行うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】衣服材料の特性をしっかりと理解し、薄地のものがよいか、厚地のものがよいかなど、用途や好みを確認しながら、より具体的な計画表をつくらうとしている。	○	○	○	4
第3章 洋服の制作	・採寸の手順に加え、パターンを理解する。 ・布地の種類や性質を理解し、それぞれの特徴に合わせた地直しや断ち方、縫い方を習得する。 ・裁断、縫製に関する基礎的な事項を理解し、技法を習得する。	【知識・技能】用具の適切な使用方法、布地の性質や扱い方、縫製の基礎を製作過程に実践するために理解している。 【思考・判断・表現】選んだ布地の性質や特性を理解した上で縫い方や断ち方、地直しを考えることができる。課題の完成にむけて、計画的に実習できている。 【主体的に学習に取り組む態度】制作の準備として、基礎的知識と技術を積極的に学ぼうとしている。技法の学びや実践とおして、作品制作に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	8
第4章 和服の製作	・和服の構成と製作に関する知識・技術を習得し、じんべいなどの製作をする。 ・和服の製作を通して平面構成衣服についての理解を深め、基本的な知識・技術を習得する。 ・現代生活の中で慣習にとらわれ	【知識・技能】特徴や用語を学びながら縫製の基礎を製作過程に実践するために理解している。 【思考・判断・表現】布調べ・地直し、しるしつけ、基礎縫いなど、学んだ基礎的な技法を表現して製作に取り組むことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】和服の伝統	○	○	○	8

3 学 期		ず和装に親しみを持てるようにする	について関心をよせている。また制作の準備として、基礎的技法を意欲的に学ぼうとしている。				
	着装	・礼装と略礼装について理解する。 ・現代生活の中で和装に親しみを持てるようにする。	【知識・技能】 着装のマナーや正装の種類と用途を理解している。 【思考・判断・表現】 TPOに合わせた美しい着装ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な和服の着つけに意欲的に取り組み、和服の着装機会に生かそうとしている。	○	○	○	2
	1年の振り返り			○	○		2
						合計	36